

事務事業	118	漱石公園のリニューアル					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	04	うるおいのあるみどりのまちづくり					
施策	02	公園、広場などの整備充実					
事業内容							
目的	郷土の偉人「夏目漱石」の足跡を区内外へ情報発信する公園として、リニューアル整備を行ないます。あわせて、老朽化した石積み擁壁の改修を行います。						
対象・手段	漱石公園において、リニューアル整備を有識者や地元区民をはじめ、漱石に思い入れのある区民との協働により計画づくりを行います。						
成果(事業が意図する成果)							
漱石公園は、夏目漱石が執筆活動を行なった住居跡の一部であり、終焉の地でもあります。漱石の足跡を伝え、漱石を偲ぶことのできる文化度の高い公園にリニューアル整備し、本区を代表的する文化資産の一つとして高めます。							
事業成果指標							
指標名	定義			目標水準			
リニューアル整備	17年度	基本計画策定	30%	(平成19年度)	年度に	の水準達成	
	18年度	実施設計策定	60%				
	19年度	整備工事	100%				
				()	年度に	の水準達成	
				()	年度に	の水準達成	
成果の達成状況							
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値1	%	0.00	30.00	60.00	100.00	
	実績1	%	0.00	30.00	60.00	100.00	
	= /	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	前年度実施の基本設計の成果に基づき、実施設計を行いました。						
平成19年度	実施設計に基づき、整備工事を実施しました。(事業完了)						

部名称		みどり土木部		課名称		みどり公園課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	5,440	8,177	79,234	
	人件費	千円	0	16,676	16,560	16,520	
	事務費	千円	0	94	0	3,754	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	22,210	24,737	99,508	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	22,210	24,737	99,508	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	22,210	24,737	99,508	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	2.00	2.00	2.00	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>公園敷地は、漱石終焉の地であり、漱石門下の討論の場として後の日本文学界・文芸界を代表する人々が育った場所でもあります。公園整備後は、「漱石山房」復元の取り組み拠点としての機能を高めることが課題です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	目標どおりに「夏目漱石」の足跡を伝える公園として整備されただけでなく、「漱石山房」復元への取り組みに繋がっています。				
	実施の成果	3	この事業は、漱石の足跡を伝える公園に整備された一方で、「漱石山房」復元への方向性が見出されたことが最大の成果であると考えています。				
	効率性	3	この事業は、漱石に思い入れを持つ多くの参画者とプロポーザルにより選定した委託業者との協働による計画を策定したため、費用対効果の観点から効率的に行われました。				
	行政の関与	2	この事業は、「漱石終焉の地」を念頭に、漱石関係者や区民との協働で取り組みました。その結果、参画者の漱石に対する関心の高さから、整備内容も充実し、「漱石山房」復元への方向性が定まりましたので、引き続き協力を得たいと考えています。				
	妥当性	3	本事業は、「漱石終焉の地」であることを考慮して、漱石関係者をはじめ多くの参画者を必要とするため、3ヵ年におよぶ協働による計画づくりは、妥当であったと考えます。				
	施策寄与度	3	3ヵ年に渡る本事業は、老朽化施設の改修をはじめ、漱石の足跡を伝える公園整備の充実が図れました。また、「漱石山房」復元への取り組む方向性を確立したことから、今後は文化資源施策へ寄与するものと考えています。				
総合評価	平成19年度の評価をAとした理由は、区民との協働で策定した計画どおりに漱石の足跡を伝える公園に整備ができたからです。その内容は、漱石の情報発信施設建設や漱石山房テラスを復元、擁壁に使われていたすべての房州石を再利用して整備しました。また、過去3年間の実績もAと評価します。その理由は、漱石関係者をはじめ多くの参画者との協働により、リニューアル開園後の来園者数が、平日は約80人、休日になると100人から200人も来園者が訪れるようになり、漱石の足跡を伝える公園として活性化されたからです。さらに、本事業をきっかけに、「漱石生誕140年記念事業」が実施され、区民をはじめ区外からも漱石への関心が高まりました。						
	過年度評価	18年度 B 17年度 A 16年度 15年度					
改革方針	本事業は、平成19年度で完了ですが、第一次実行計画「76 漱石山房の復元に向けた取り組み」に引き継ぎます。今後は、漱石公園を情報発信の拠点として、適切で質の高い運営管理を行うとともに、漱石山房復元に向けた取り組みを進めていきます。						
	方向性	6 休廃止					